

KMリフト工法がNETIS登録

鋼床版垂直補剛材の疲労き裂補修

芝浦工業大学監修のもと、川田工業・MKエンジニアリングが共同開発した鋼床版適用構造の垂直補剛材とデッキプレート溶接部に発生する疲労き裂の補修・補強工法「KMリフト工法」が4月1日にNETISに登録（SK-200002-A）された。

同工法はき裂の進展をとどめ、溶接部の発生応力

防止し、特殊な施工機器を用いることなく施工可能。

同工法では、従来のデッキプレート補強工法と比べて、道路上の規制や舗装除去が不要であり、橋梁下面からのアプローチにて施工が可能だ。また、施工時間も比較的短く、補強部材のモニタリ

ング孔で補強後のき裂状況や溶接ビードの経過観察が可能であり、大幅なコスト低減により、同部位の予防保全対策としての効果も期待される。

川田工業・MKエンジニアリングは鋼床版デッキプレートの疲労き裂補修工法に対する新たな選別肢として、NETIS登録を通じて同工法の普及を促進したいとしている。

KMリフト施工例

